

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年8月7日(2014.8.7)

【公開番号】特開2013-13474(P2013-13474A)

【公開日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-004

【出願番号】特願2011-146884(P2011-146884)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月25日(2014.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

図柄等の識別情報を表示する表示手段と、遊技の制御を行う主制御手段と、その主制御手段から送信される制御用コマンドに基づいて前記表示手段に識別情報の動的表示を行わせる従制御手段と、を備え、

前記動的表示において予め定めた表示結果を現出させた場合に所定の遊技価値である特別遊技状態を付与する遊技機において、

前記従制御手段は、

前記制御用コマンドを受信した場合に、前記動的表示において実行する複数種類の表示態様の中から前記表示手段で行わせる前記動的表示の表示態様を選択する表示態様選択手段と、

その表示態様選択手段によって選択された表示態様で前記動的表示が実行される場合に、その動的表示の結果として予め定めた表示結果が現出する期待度を示唆する示唆表示情報を、前記期待度の異なる複数種類の示唆表示情報の中から所定の契機に選択する示唆表示選択手段と、

前記動的表示が行われている場合に、前記示唆表示選択手段によって選択された示唆表示情報を前記表示装置に表示させる示唆表示手段と、を備え、

前記動的表示の複数種類の表示態様には、一の動的表示の実行中に前記示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様を含むものであり、

前記示唆表示選択手段は、

前記示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様で行われる一の動的表示にて表示される第 1 の示唆表示情報を第 1 の所定の契機に選択して、前記第 1 の示唆表示情報が表示される動的表示においてその第 1 の示唆表示情報の次に表示される第 2 の示唆表示情報を第 2 の所定の契機に選択する場合に、前記第 1 の示唆表示情報よりも低い期待度を示唆する示唆表示情報を非選択とするものであり、

前記動的表示の複数種類の表示態様には、前記一の動的表示の実行中に前記示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様であって、前記動的表示の実行期間の異なる複数種類の表示態様が含まれており、

前記示唆表示選択手段によって選択される前記示唆表示情報を、前記動的表示の実行期間に応じて制限する選択制限手段を備えており、

該選択制限手段は、実行期間の短い前記動的表示ほど前記期待度の低い種類の前記示唆表示情報が前記示唆表示選択手段によって選択されやすくなるように制限するものであることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、図柄等の識別情報を表示する表示手段と、遊技の制御を行う主制御手段と、その主制御手段から送信される制御用コマンドに基づいて前記表示手段に識別情報の動的表示を行わせる従制御手段と、を備え、前記動的表示において予め定めた表示結果を現出させた場合に所定の遊技価値である特別遊技状態を付与するものであり、前記従制御手段は、前記制御用コマンドを受信した場合に、前記動的表示において実行する複数種類の表示態様の中から前記表示手段で行わせる前記動的表示の表示態様を選択する表示態様選択手段と、その表示態様選択手段によって選択された表示態様で前記動的表示が実行される場合に、その動的表示の結果として予め定めた表示結果が現出する期待度を示唆する示唆表示情報を、前記期待度の異なる複数種類の示唆表示情報の中から所定の契機に選択する示唆表示選択手段と、前記動的表示が行われている場合に、前記示唆表示選択手段によって選択された示唆表示情報を前記表示装置に表示させる示唆表示手段と、を備え、前記動的表示の複数種類の表示態様には、一の動的表示の実行中に前記示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様を含むものであり、前記示唆表示選択手段は、前記示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様で行われる一の動的表示にて表示される第1の示唆表示情報を第1の所定の契機に選択して、前記第1の示唆表示情報が表示される動的表示においてその第1の示唆表示情報の次に表示される第2の示唆表示情報を第2の所定の契機に選択する場合に、前記第1の示唆表示情報よりも低い期待度を示唆する示唆表示情報を非選択とするものであり、前記動的表示の複数種類の表示態様には、前記一の動的表示の実行中に前記示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様であって、前記動的表示の実行期間の異なる複数種類の表示態様が含まれており、前記示唆表示選択手段によって選択される前記示唆表示情報を、前記動的表示の実行期間に応じて制限する選択制限手段を備えており、該選択制限手段は、実行期間の短い前記動的表示ほど前記期待度の低い種類の前記示唆表示情報が前記示唆表示選択手段によって選択されやすくなるように制限するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

また、一の動的表示の実行中に示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様として、識別情報の実行期間が異なる表示態様が複数種類用意されており、動的表示が、実行期間の短い表示態様で表示されている場合ほど、示唆表示選択手段によって期待度の低い示唆表示情報が選択されやすくなるように選択制限手段によって制限される。よって、動的表示が長く行われる場合ほど、期待度の高い示唆表示情報が表示されやすくなるので、動的表示が長く行われる場合ほど、遊技者の大当たりへの期待感を高めることができる。このため、遊技者を飽きさせることなく、動的表示の実行期間を長時間化することができるという効果がある。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 1 0 0 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 1 0 0 4 】

遊技機 A 1 から A 4、B 1、C 1、D 1、D 2 のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機 E 3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

<その他>

<手段>

以下に、本願発明の他の技術的思想を記載する。

技術的思想 1 の遊技機は、図柄等の識別情報を表示する表示手段と、遊技の制御を行う主制御手段と、その主制御手段から送信される制御用コマンドに基づいて前記表示手段に識別情報の動的表示を行わせる従制御手段と、を備え、前記動的表示において予め定めた表示結果を現出させた場合に所定の遊技価値である特別遊技状態を付与するものであり、前記従制御手段は、前記制御用コマンドを受信した場合に、前記動的表示において実行する複数種類の表示態様の中から前記表示手段で行わせる前記動的表示の表示態様を選択する表示態様選択手段と、その表示態様選択手段によって選択された表示態様で前記動的表示が実行される場合に、その動的表示の結果として予め定めた表示結果が現出する期待度

を示唆する示唆表示情報を、前記期待度の異なる複数種類の示唆表示情報の中から所定の契機に選択する示唆表示選択手段と、前記動的表示が行われている場合に、前記示唆表示選択手段によって選択された示唆表示情報を前記表示装置に表示させる示唆表示手段と、を備え、前記動的表示の複数種類の表示態様には、一の動的表示の実行中に前記示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様を含むものであり、前記示唆表示選択手段は、前記示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様で行われる一の動的表示にて表示される第1の示唆表示情報を第1の所定の契機に選択して、前記第1の示唆表示情報が表示される動的表示においてその第1の示唆表示情報の次に表示される第2の示唆表示情報を第2の所定の契機に選択する場合に、前記第1の示唆表示情報よりも低い期待度を示唆する示唆表示情報を非選択とするものである。

技術的思想2の遊技機は、技術的思想1の遊技機において、前記示唆表示選択手段によって直前に選択された示唆表示情報の種類を記憶可能な選択種類記憶手段と、前記示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様で実行される一の識別情報の動的表示を開始する際に、前記直前に選択された示唆表示情報の種類として所定の種類を前記選択種類記憶手段に記憶させる選択初期化手段と、を備え、前記示唆表示選択手段は、前記示唆表示情報の種類と対応する表示種類情報を前記所定の契機に抽選して取得する抽選取得手段と、その抽選取得手段により表示種類情報が取得された場合に、その取得された表示種類情報と対応する示唆表示情報の種類が、前記選択種類記憶手段に記憶されている示唆表示情報の種類よりも前記期待度の低い種類か否かを判別する判別手段と、前記抽選取得手段により取得された表示種類情報と対応する示唆表示情報の種類が、前記選択種類記憶手段に記憶されている前記示唆表示情報の種類よりも前記期待度の低い種類であると、前記判別手段によって判別された場合に、前記示唆種類記憶手段に前回記憶されている前記示唆表示情報の種類を、新たな示唆表示情報の種類として決定する第1決定手段と、前記抽選取得手段により取得された表示種類情報と対応する示唆表示情報の種類が、前記選択種類記憶手段に記憶されている前記示唆表示情報の種類と前記期待度が同じ又はそれよりも高い種類であると、前記判別手段によって判別された場合に、前記抽選取得手段により取得された前記表示種類情報と対応する示唆表示情報の種類を、新たな示唆表示情報の種類として決定する第2決定手段とを備えており、前記第1決定手段または前記第2決定手段によって決定された種類の前記示唆表示情報を選択するものである。

技術的思想3の遊技機は、技術的思想1又は2の遊技機において、前記動的表示の複数種類の表示態様には、前記一の動的表示の実行中に前記示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様であって、前記動的表示の実行期間、及び、その実行期間における示唆表示情報を表示可能な回数が異なる複数種類の表示態様が含まれており、前記一の動的表示の実行中に前記示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様は、前記動的表示の実行期間の長いもののほど、前記動的表示の実行中に前記示唆表示情報を表示可能な回数が多いものである。

技術的思想4の遊技機は、技術的思想1から3のいずれかの遊技機において、前記動的表示の複数種類の表示態様には、前記一の動的表示の実行中に前記示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様であって、前記動的表示の実行期間の異なる複数種類の表示態様が含まれており、前記示唆表示選択手段によって選択される前記示唆表示情報を、前記動的表示の実行期間に応じて制限する選択制限手段を備えており、該選択制限手段は、実行期間の短い前記動的表示ほど前記期待度の低い種類の前記示唆表示情報が前記示唆表示選択手段によって選択されやすくなるように制限するものである。

< 効果 >

技術的思想1の遊技機によれば、表示装置に表示される識別情報の動的表示において実行する複数種類の表示態様には、実行中の識別情報の動的表示にて予め定めた表示結果が現出する期待度を示唆する示唆表示情報を、一の動的表示の実行中に複数回表示可能な表示態様が含まれており、その動的表示において表示される示唆表示情報は、期待度の異なる複数種類の示唆表示情報の中から、示唆表示選択手段によって所定の契機に選択される。表示態様選択手段によって、一の動的表示の実行中に示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様が選択された場合、示唆表示選択手段は、その表示態様で実行される動的表示に

において表示する第 1 の示唆表示情報を、第 1 の所定の契機に選択して、その第 1 の示唆表示情報を表示させる動的表示と同じ動的表示において、第 1 の示唆表示情報の次に表示させる第 2 の示唆表示情報を、第 2 の所定の契機に選択する。第 1 の示唆表示情報に比べて、予め定めた表示結果が現出する期待度の低いものは、第 2 の示唆表示情報として選択されない。つまり、第 2 の示唆表示情報は、第 2 の示唆表示情報が表示される動的表示において、第 2 の示唆表示情報よりも先に表示される第 1 の示唆表示情報と同じ、または、それよりも高い期待度を示唆するものが選択される。よって、示唆表示情報が複数回表示される表示態様で実行される一の動的表示において、先に表示される第 1 の示唆表示情報よりも、後に表示される第 2 の示唆表示情報のほうが、予め定めた表示結果が現出する期待度が低くなることはないので、遊技者の遊技に対する信用を損なうことを防ぎつつ、予め定めた表示結果が現出することに対する遊技者の期待感を高めることができるという効果がある。

技術的思想 2 の遊技機によれば、技術的思想 1 の遊技機の奏する効果に加え、示唆表示選択手段によって、第 2 の示唆表示情報が選択される場合には、選択種類記憶手段には、示唆表示選択手段によって直前に選択された第 1 の示唆表示情報の種類が記憶されている。まず、第 2 の所定の契機に、抽選取得手段によって示唆表示情報の種類と対応する表示種類情報が抽選によって取得され、取得された表示種類情報と対応する示唆表示情報の種類が、示唆表示選択手段に記憶されている第 1 の示唆表示情報の種類と比べて期待度の低い種類か否かを、判別手段によって判別する。その結果、取得した表示種類情報と対応する示唆表示情報の種類が、選択種類記憶手段に記憶されている第 1 の示唆表示情報の種類と期待度が同じ又はそれよりも高い種類であると判別された場合は、抽選取得手段によって取得された表示種類情報と対応する示唆表示情報の種類が、第 2 決定手段によって第 2 の示唆表示情報の種類として決定され、第 2 の示唆表示情報が表示される。一方、取得した表示種類情報と対応する示唆表示情報の種類が、選択種類記憶手段に記憶されている第 1 の示唆表示情報の種類よりも期待度の低い種類であると、判別手段によって判別された場合は、選択種類記憶手段に記憶されている第 1 の示唆表示情報の種類と同じ種類が、第 1 決定手段によって第 2 の示唆表示情報の種類として決定され、第 2 の示唆表示情報が表示される。このとき、遊技機に用意されている示唆表示情報の種類の数にかかわらず、抽選取得手段によって取得された表示種類情報と対応する示唆表示情報の種類を、選択種類記憶手段に記憶されている示唆表示情報の種類と判別手段によって判別するだけで、第 1 の示唆表示情報の後に、その第 1 の示唆表示情報と比べて期待度の低い第 2 の示唆表示情報を表示させない。このため、示唆表示情報の種類と表示種類情報との対応付けのパターンを少なくすることができる。よって、遊技機の記憶媒体において、示唆表示情報の種類と表示種類情報との対応付けに必要な領域を抑制することができ、その対応付けのための遊技機の設計を容易化することができるという効果がある。

技術的思想 3 の遊技機によれば、技術的思想 1 又は 2 の遊技機の奏する効果に加え、一の動的表示の実行中に示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様として、動的表示の実行期間及びその実行期間における示唆表示情報を表示可能な回数が異なる表示態様が複数種類用意されており、動的表示の実行期間の長いものほど、識別情報の動的表示の実行中に前記示唆表示情報を表示可能な回数が増えるよう設定されている。よって、動的表示の実行期間の長いものほど、その動的表示の実行中に示唆表示情報が多く表示されて、その動的表示で最終的に表示される示唆表示情報の示唆する期待度が高くなる傾向にある。このため、遊技者を飽きさせることなく、動的表示の実行期間を長時間化することができるという効果がある。

技術的思想 4 の遊技機によれば、技術的思想 1 から 3 のいずれかの遊技機の奏する効果に加え、一の動的表示の実行中に示唆表示情報を複数回表示可能な表示態様として、識別情報の実行期間が異なる表示態様が複数種類用意されており、動的表示が、実行期間の短い表示態様で表示されている場合ほど、示唆表示選択手段によって期待度の低い示唆表示情報が選択されやすくなるように選択制限手段によって制限される。よって、動的表示が長く行われる場合ほど、期待度の高い示唆表示情報が表示されやすくなるので、動的表示

が長く行われる場合ほど、遊技者の大当たりへの期待感を高めることができる。このため、遊技者を飽きさせることなく、動的表示の実行期間を長時間化することができるという効果がある。